

## 評価内容(福山電業株式会社)

敬称略, 順不同

評価員名	評価内容
渡邊一成	駅前再生ビジョンや駅周辺デザイン計画を踏まえ、パブリックマインドを持った官民連携に取り組んでいただける主体であると提案内容から読み取れる点は高く評価できる。7年間という長期間の事業運営について相当な熱意を感じる一方、事業実現性、継続性、資金繰り、プロジェクトマネジメントの面で一層のブラッシュアップが必要であると思われるので、是非とも持たれている熱意を結実させるべく、官民連携のもと、行政とも相談しながら提案チームの総力をあげて駅周辺の活性化に取り組んでいただくことを希望する。
入江智子	地の食材を使った飲食店をはじめ、地元企業の関心表明書を多数集めており、中でも再生の視点③に関連して、若手の人材の育成に関するコンテンツが多い点で評価が高かった。事業収支計画も銀行との協議を終えて臨まれた点は評価出来た。今後は事業主の会社で社内ベンチャーを立ち上げ親会社から借入するなど、資金や運営面での責任の所在を明確にさせるとなお良いと思われる。
安藤晶子	地元住民や商店会としっかり協力・連携しながら事業を行う提案であり、地域の意欲を持った事業者を育てる場にもなり得ると感じた。意気込みや熱意は十分あると感じたので、その熱意を持ち続けて事業を進めて欲しい。資金計画については概算で見込まれている印象を受けたので、今後精査してもらいたい。
池内精彦	組織運営や責任の所在等、マネジメント体制に見えない点はあるが、提案者チームの危機感と情熱は本物と思われるので、その点の改善を条件に、提案者チームにかけたいと考える。
小川智弘	官民連携への理解度が高く、野心的な提案内容は非常に評価できる。また、福山の地元企業であることも評価できる。運営体制について、自治組織を作ったの運営は、新たな取組として評価ができるが、安定的な運営のためには、より責任を明確にする必要があると感じた。資金計画は、施設管理費の各項目の精査などによって、今後改善する余地があると感じた。
星憲太郎	行政や地域との対話を重視する姿勢が見て取れた部分は評価出来る。またビル管理運営業務については、全て分離・外注するのではなく、テナント含めた関係者による自主運営を一部取り入れることで、関係者自身に当事者意識を持たせると同時にコスト大幅削減を図るという提案内容であり、今後の人口減少に起因するマーケット縮小及び担い手不足といった我が国地域社会における共通課題に対する一つの解決策にもなりうると思料される。一方、一般的にビル管理運営業務は、分離・外注化することで役割分担を明確化し、また専門化・体系化されていった側面もあると考えられ、それを内製化とはいえ異なる法人・個人間で分担するにあたり、役割・責任が曖昧だと、事故発生等リスクが顕在化した際にトラブルになりやすく、また問題解決に長期間を要しかねないことから、行政・運営・テナント等関係者間で、誰が取り仕切るのか、また現実的な負担能力も勘案しつつ仕組みづくりをしておくべきである。

安西紗耶	提案コンテンツが駅前再生ビジョンとリンクしていて、まちづくりと市民への波及効果が期待できる提案となっていた。一方で、運営面での組織の全体像と具体的な意思決定プロセス、利用者の安全確保の主体的責任などをより明確にし、プロジェクト単体の収支管理体制なども市民への見える化を図ることなどの改善を望む。官民連携においてビジョンを共にし、実現するパートナーと期待する。
池田圭次	三之丸町周辺エリアの近未来を予測し、駅周辺に住む人や働く人の暮らしをイメージした提案となっている点、市や備後圏域の課題の解決をめざすコンテンツが提案されていた点は評価できる。運営体制や資金計画については今後詳細な協議を重ねる中で、責任の明確化や精度の向上を図ってもらいたい。
藤井信行	パブリックマインドあふれる提案であり、地域貢献に対する熱意を感じる。エリア価値・エリアの魅力を高めるための道筋が明確になっている。コンセプト、コンテンツは地域性にあふれ、地域との連携やさらなる賛同者の獲得が期待できる。実事業化に向けては、運営体制と資金計画の面で、役割分担や負担割合などを明確化する必要がある。
渡邊桂司	エリア価値を高めるにぎわい創出を意識し、福山城周辺エリアや三之丸公園の各方面へそれぞれ違った性格のコンセプトにより人の流れを生み出す提案がなされており、ワクワク感や将来的な成長性への期待が高かった。フラットな組織運営体制は柔軟性を感じるが、安定性をより高めるため、最終意思決定プロセスを明確にしておくことが望まれる。